

鉄道ピクトリアル

1970年 10月号 Vol. 20 No. 10

■表紙「名残りの安芸」……………岸 幸男撮影
 ■カラー頁「大村湾にそって」(第15回鉄道写真コンクール入賞) ……浜村 正弘撮影

■グラフ

- 鹿島線開通……………白土 貞夫…11
- 思い出のアルバム [5]……………高松吉太郎…12
- DE50誕生……………日立製作所・梅村俊樹…14
- ハワイの鉄道……………小倉 文夫…16
- 静鉄駿遠線廃止……………岸 幸男…18
- 秋空 (第15回鉄道コンクール佳作)……………長尾進一郎…43
- 鉄道フォトギャラリー 五能線を行く……………佐竹 保雄…44
- 小海線をめぐる (第15回コンクールから)……………高木堯男・菅瀬一康・真山明徳…48
- 高原の回送 (第15回鉄道写真コンクール入賞・2頁大・解説80頁) ……原 京一…50
- ユーレイルパス1枚 (フランス・イギリス編) ……田中 知己…52
- 鹿児島運転所……………村上 勉…54
- 江ノ島電気鉄道……………高松吉太郎・荻原二郎・中村夙雄…56
- 消えゆくけむり [1] 花輪線3重連……………伊藤 昌慶…58

トピックフォト

(九州・中国・関西・中部・関東・東北・北海道だより) ……83

■本文

- 今月の話題・鹿島線開通とその意義……………編集部…3
- 45年10月時刻改正の概要……………谷彦 光夫…4
- 45・10改正に伴う車両の移動 [1]……………稲垣英治・三野清磨…8
- 赤毛布ハワイに行く……………小倉 文夫…19
- 45・10改正に伴う車両の移動 [2]……………小河孝・大森芳昭…20
- 東海道線時刻改正一夕話……………大久保邦彦…23
- DE50形ディーゼル機関車誕生……………永瀬 和彦…27
- 45年度私鉄車両増備計画……………萩原 正雄…30
- 阪神電鉄急行用7000系の概要……………阪神電気鉄道車両部…36
- 私鉄高速電車発達史 [26]……………中川 浩…39
- ヨーロッパの地下鉄を巡る [終]……………里田 啓…59
- ヨーロッパの汽車の旅、15条 [下]……………田中 知己…64
- 運転所を訪ねて [16] 「鹿児島運転所・鹿児島機関区」……………村上 勉…66
- 書評④「懐想の蒸気機関車」……………和久田康雄…69
- 私鉄車両めぐり [84] 「江ノ島鎌倉観光」 [上]……………今城 光英…70
- 大成功! 東南アジア鉄道視察団……………78
- 質問に答える……………79
- 鉄道の話……………80
- 車両の動き……………81
- 8月のメモ帳……………82
- 読者短信……………91
- TTKだより・後部車から……………94



鹿島線開通とその意義

鹿島臨海工業地帯の「陸の動脈」となる国鉄鹿島線(香取―水戸間、70.5km)のうち、香取―北鹿島間、17.8kmが8月20日開通、旅客営業を始めた。

鹿島線に沿った茨城県南部地方の住民にとって、鉄道乗入れは半世紀にわたる宿願だった。いやそれどころではない。東京から約90キロ、この地帯はスイカ・サツマイモと落花生しかつくれなかった。茨城県のチベットといわれた海岸だった。ここに日本の一流企業―住友金属・東電をはじめ33社がすでに進出、最新の土木技術を使って20万トン級の港湾がつくられ、成田新国際空港の約4倍、4,000haの砂丘や農地を人口25万の工業都市に造り換える大工事が進む、わが国最大級規模の鹿島臨海工業地帯の玄関へ、一本のレールで結ばれたのだ。

同線は、さる42年2月、総工費87億円、キロ当り5億円と新幹線なみの工費で、全線高架式で踏切のない近代路線、北浦鉄橋(全長1,230m)の工事を皮切りに、スピード工事が進められ、3年余で部分開通にこぎつけたもの。

もちろん、沿線には水郷国定公園をはじめ、大洗・沼沼など観光再開発も見込まれているが、産業路線の色濃く、全国でも数本しかない採算のとれる新線で、鹿島と京葉工業地帯との物資の交流が大きなねらい。同線の運賃収入推定は乗客対貨物の国鉄平均7:3に対し、5:5か貨物がやや上回りそうと、国鉄はみている。ただし貨物輸送開始は10月初めごろになる見通しである。

なお、鹿島線の建設に関する記事は本誌No. 238を参照されたい。

〔表紙〕「名残りの安芸」

岸 幸男 撮影
 けん引機C6216 [広]
 呉線海田市付近 '70.6.26
 マミヤプレス 絞り5.6 タイム1/250
 エクタクローム

〔カラー頁〕「大村湾にそって」

浜村 正弘 撮影
 (第15回鉄道写真コンクール入賞)
 327D 長崎本線大草―東園間
 '69.8.28
 マミヤプレス 絞り11 タイム1/125
 エクタクローム

TETSUDOTOSHO KANKOKAI
 New Kokusai Bldg, Marunouchi
 3-4-1, Chiyodaku, Tokyo/Japan